

2050年カーボンマイナスを目指すための江戸川区の目標に関する陳情

(生活振興環境委員会付託)

受理番号 第124号

受理年月日 令和4年6月13日

付託年月日 令和4年6月21日

陳情者
.

陳情原文 2021年11月13日に閉会したCOP26(第26回気候変動枠組条約締約国会議)では、温暖化を1.5以内に抑えること、そのために各国に来年末までに目標(NDC)を強化することを求める合意文書を採択しました。今のままでは、2040年には1.5上昇が起きてしまうと言われており、2030年までの行動が、2050年までの気候変動に大きな影響を及ぼします。

現在、江戸川区は「気候変動適応計画(仮称)」を策定中であり、当該計画内で「2050年カーボンマイナス」という国内でも高い目標を掲げています。こうしたカーボンマイナス達成のためには、同計画において掲げられた「2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比50%削減」という目標を「2013年度比60%以上」へ引き上げることが不可欠となります。

国際研究機関「Climate Action Tracker」は気候危機を食い止めるための1.5目標達成のためには、日本の温室効果ガスを「2030年までに2013年度比62%削減」することが必要と発表しました。国内では長野県が2021年5月17日に、環境審議会 地球温暖化対策専門委員会で「日本の脱炭素をリードする野心的な削減目標“2030年度までに60%減”を目指す」と表明しました。住民と一体となったよりよい地域・環境づくりに古くから取り組んできた江戸川区には、次世代を見据えた高い目標を掲げ、都や国をリードする「日本一のエコタウン」となっていきたいです。

つきましては、貴議会において、このような取組みを区長に求めるよう、下記のとおり陳情いたします。

記

「気候変動適応計画(仮称)」における2030年度までの温室効果ガスの削減目標を、2013年度比60%以上に引き上げること。